

都市構造可視化研修 ～木造住宅密集地域を可視化する～



名古屋市都市計画課

i-都市交流会議2022

1

1. 名古屋市の市街地整備

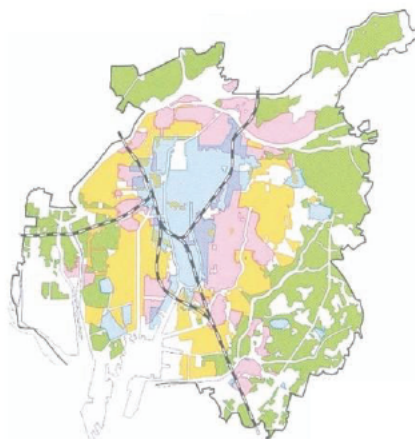
名古屋市の市街地整備

名古屋市における市街地の整備は、主として土地区画整理事業により行われ、道路、公園などの都市基盤施設は面的に整備されてきた。

古くは、耕地整理に始まり、旧都市計画法の施行後は、耕地整理に加え土地区画整理が活発に行われ、その施行面積は、昭和20年当時で市域の56%に及んだ。

第二次世界大戦の戦禍により当時の市域の4分の1を焼失したが、戦後いち早く都市の復興計画に取り組み、これにより、今日の名古屋の象徴ともいえる100m道路や平和公園をはじめとした都市基盤施設が整備され、都市の骨格が形成された。

その後も土地区画整理事業を主とした開発手法によって、最終的には市域（約32,000ha）の約3分の2に手が加えられ、世界的にみてもまれな都市整備を進めている。



- 新法の組合施行土地区画整理
- 旧法の土地区画整理
- 耕地整理
- 公共団体等施行土地区画整理

i-都市交流会議2022

2

2. 主な木造住宅密集地域

主な木造住宅密集地域



木造住宅密集地域は、その多くが戦火を免れた昔からの集落や、耕地整理等により基盤整備を実施したものの、整備水準が現在のものよりも低く、道路や公園などの基盤が不十分なまま現在まで残ってしまったものである。

名古屋市都市計画マスタープランでは、戦略的まちづくりの展開における誘導地域として、市内で11地区（大杉・杉村、日比津、中村、米野、御劔、大喜、戸田、下之一色、呼続、桜・笠寺・本星崎、鳥羽見・甘軒家）の「主な木造住宅密集地域」が示されている。

3. 御劔地区

御劔地区（瑞穂区、一部昭和区）



【御劔地区】

名古屋市のほぼ中心に位置し、面積は約80ha、人口は約7,000人である。

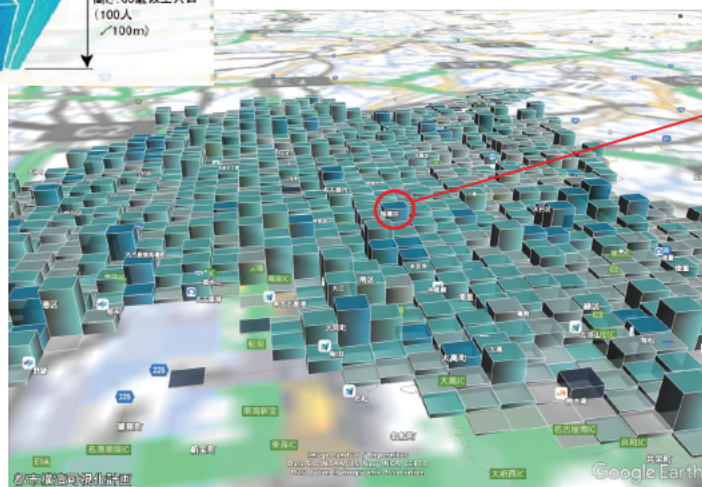
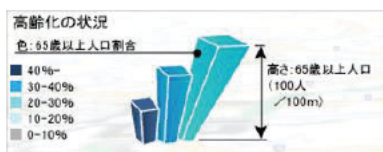
【御劔の地名の由来】

草薙剣、八剣社にちなむ。地域内に草薙剣をご神体とする熱田神宮の分祀があり、また、八剣社もある。いずれも高田城の城主村瀬浄心が勧請したものと伝えられている。

名古屋市計画局発行「名古屋の町名」より

4. 御劔地区の状況①

高齢化



御劔地区

補注: 都市構造可視化計画、地理院地図を使用

御劔地区は周りの地域と比べて高齢者人口が多く、割合も高い

5. 御劔地区の状況②

建築面積・建物高さ



御劔地区

補注: 地理院地図を使用

御劔地区は周りの地域と比べて低層・建築面積の小さい建物が多く集積している

6.最後に

研修を受けた感想

1. 本市システムの問題

普段業務で使用しているパソコンはインターネットへの接続方法として仮想デスクトップを使用しているため、Google earth Proが使えない。貸与されたパソコンでしか見るができないため、他職員への展開が難しかった。

2. データ形式の特殊性

外部から普段業務で使用しているパソコンにKMLファイルを持ち込んだり、MANDARAを使用するためにEXEファイルを持ち込む際に、これらは本市のシステム上一般的なデータの種類ではないため、無害化ソフトが使えず、上司の承認が必要な別のソフトを使用する必要があった。その点が非常に手間だった。

2026愛知・名古屋アジア競技大会

都市の紹介

2026年愛知・名古屋アジア競技大会が行われます。
大会に向けて、県市で競技会場・選手村の整備を行っています。



瑞穂陸上競技場
2023年完成予定



(仮) 愛知県新体育館
2025年完成予定

補注：名古屋市HPより